

# Saiwai. com

## 幸支部授業研究会(幸町小学校)

### ◀ 3年生 保健「健康な生活」 ▶ 阿久津 継司先生

11月15日(水)に幸町小学校にて第2回幸支部授業研究会が行われました。授業では、実際の体験をもとに子供たちが課題について考えたり、意見を伝え合ったりする姿が見られました。授業や会場の準備をしてくださった幸町小学校の職員の皆さん、ご多用の中参観された皆さん、ありがとうございました。

研究協議では、活発な意見交換がなされ、研究を深めることができました。また、講師の佐藤大樹先生からは、保健の学習を考えていくうえで参考になる貴重なご助言をいただくことができました。

以下、多くのご意見、ご感想をいただいた中で、主だったものをいくつかお知らせさせていただきます。

## 研究協議 ○感想や意見 ☆質問 ◎質問に対する回答・授業者より

### 【手洗い実験による効果】

○手洗い体験をしたことで、自分の手洗いの仕方に目を向ける子供の姿がよく見られた。

○自分のことにはよく気付けたが、せっかくグループで学習を進めていたので、友達ともっと関わり合う場面があるとよいと感じた。

### 【言葉の整理】

○保健の学習では知識としておさえないといけない言葉がある。例えば、「健康の状態」や運動、食事、睡眠や休養などといった言葉である。それらの言葉をきちんと伝えることが大事。今回の授業では「菌」「細菌」「ばい菌」という言葉が使われていた。言葉を整理してもよかった。

### 【教師の出番】

○一人の子供の気付きを拾い、全体に広めるというような教師の出番があるとよい。

## 指導講評 川崎市立小学校体育研究会 助言者 川崎市立西野川小学校 教頭 佐藤 大樹 先生

○「こんな保健学習は嫌だ！」に当てはまる授業をしている方いませんか？

- ・雨で体育ができないときにやる保健の授業・プリントだけの授業
- ・自分で調べておきなさいという自習の授業・テストの結果だけで知識の評価をする保健の授業 など

○問いの「健康に生活するためにはどのようにするとよいだろう」は、未来の生活の土台になるものだった。それほど大きなテーマである。リスクの軽減、生活習慣の向上、生活を支える環境づくり等、保健の見方・考え方を授業の中で育てていきたい。また、1年に4時間しかないが、大切なものであるので、きちんと授業していただきたい。そのうえで、今回の授業はよりよい取り組みだった。

○先生は「体の清潔」だったが、子どもたちは「手の清潔」についてだけ考えていたため、「手を例にして体の清潔について考えてみよう」と声掛けが必要だった。子供のどの意見に対しても問い直す教師の姿が見られた。問や課題解決に迫る子供の意見に「問い直し」することで、子供の考えが明確になったり、深まったりするきっかけになる。「問い直し」の意義を考えていきたい。

○本時の目標やねらいとはちがうことをまとめさせようとするものだった。指導と評価の一体化を図るうえで、ワークシートやまとめる内容などずれがないようにしていきたい。

担当：東小倉小学校 内田 達也

文責：幸町小学校 木戸 祐輔